2022 年度　最終 1 月 全国有名国公私大模試　地理 B　採点基準

1　単答記述問題

①　誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。
②　漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は 0 点。
③　日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ 0 点。
④　中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については，漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
⑤　その他の地名や地理用語について，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

2　論述問題

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には，適宜加点。ただし，満点は越えない。）
↓
以下の共通減点要素で減点

共通減点要素
①　加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
②　字数オーバーは 0 点
③　明らかに文章の構成が誤っている場合，論理が合わない場合などは 1 点減点。
④　指定語句に下線をつける問題で，下線が引き忘れてある場合は 1 問につき 1 点減点。（指定語句は，解答中のどこかで使用していればよい）

（＊減点しなくていい要素，その他の注意）
①　加点ポイント以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
②　文章が未完のものは減点しない。
③　以下の基準における加点項目は，内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

3　採点記号

1	＜□□□□＞	**加点ポイント**
2	□□□□×	事実に誤認あり
3	□□□□?	文意不明
4	□□✔□□	誤字あり／脱字あり

4　設問別加点要素

1）＿＿＿＿部分は必須キーワードであり，この表現がなければ加点しない。その他は同義であれば加点する。

2）○○／△△　は「○○でも△△でも可」を意味する。

3）「②（①の説明として）」は，加点ポイント①を正解していなくても，加点ポイント②に該当すれば加点する。

2

問１　2：○産業の空洞化　→2 点　　×空洞化

問１　3：○輸送園芸／遠郊　→2 点　△トラックファーミング　→1 点

（※「～農業」につながらないため）

問１　4：合計特殊出生率　→2 点　　×出生率

3

問１　○タウンシップ制／タウンシップ制度／タウンシップ →2 点

問２　3 点

海面の低下でアジアと陸続きになったため。

【加点ポイント】

①＜2 点＞【理由】

○アジアと陸続きになった／アジアから歩いてくることが可能だった

○ユーラシア大陸とアメリカ大陸がつながった

②＜1 点＞【①の要因】

○海面の低下／海水の減少

問３　3 点

白人のアングロサクソンでプロテスタントを信仰する。

【加点ポイント】

①＜1 点＞【人種について】

○白人

②＜1 点＞【民族について】

○アングロサクソン／アングロ・サクソン　（※「人」「民族」が付いても可）

③＜1 点＞【信仰する宗教】

○プロテスタント

×キリスト教／カトリック

問８　○サラダボウル／サラダボール　→2 点

問９　○ホンコン／香港　→2 点

問 10　E：○イヌイット／エスキモー　→1 点

4

問１　1：○国際分業　→1 点　　×水平分業

問１　4：○貿易摩擦　→1 点　　×日米貿易摩擦